

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3 年 2 月 25 日

事業所名： こどもの家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○		規準の人員は満たしているが、それ以上の人員を配置している	子どもの動きに配慮したり、より丁寧な支援のために配置を考えている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		子どもの高さに応じて段差を低くしたり、危険なところにカバーをするなど	外へ出る時の段差など年齢の小さい子どもに応じてできることを検討したい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		消毒などの衛生面に気を付ける。物を多くおかず子どもが集中できる環境づくり	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		日々の打ち合わせ、振り返り・ミーティング、全体会議など	時短で働く職員への周知
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		アンケートの実施	アンケート内容を職員に周知し、それをもとに改善点など共有する
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		検討中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		外部研修・内部研修に参加	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		発達相談の同席・医療関係者との連携・事業所でのアセスメント	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		生活・運動・社会性など領域別にアセスメントできるようにしている	時短で働く職員への周知
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		個々の発達や段階に応じて目標設定をし、支援につなげている	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		計画で立てた支援内容を実施している	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティング、振り返りで共有する	時短で働く職員との共有
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		研修等の実施により新しい内容を盛り込んでいく	さらなる研鑽を重ねていく
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		集団活動のほか、個別リハビリの実施・個別課題の取り組みを実施	利用時間が少ない子どもへの支援
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援前のミーティングで行っている	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		振り返りの実施と必要事項の記録で共有する	時短で働く職員への周知
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		活動案・反省、個別記録など	
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		モニタリングを定期的に行い計画の見直しを行っている	
22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか					

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		必要に応じて参加している	
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		地域の保健師と情報共有をしている	
	25	(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		移行を考えている子どもには、見学の同行や引継ぎを実施	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて情報共有ができるようにしていきたい
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか				
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				

	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		センターとの連携	連携の強化
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			親子教室利用の子どもについては年齢が小さいため現実的に実施が難しいが必要の有無を検討していく
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			参加の要請がないが、要請があれば出席したい
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		懇談の実施・送迎時や「ママ会」での話し合いに機会を設けている	懇談以外にも個別的に時間をとって話しやすい時間を作っていくことが必要
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		個別相談の実施、子どもの様子の可視化（写真）を綴るノートの作成、ママ会の実施	リトミッククラスの保護者へのペアレントプログラムの実施
保護者への説明責任等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用前に時間を設けて説明をしている	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		計画書を提示しながら、不明なところがないか確認し同意を得て記名サインをもらっている	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別懇談の実施、必要性を感じた時や申し出があった時の懇談の実施	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		親子教室については「ママ会」を実施	
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談のため来所が難しい時には電話でのやりとりをする	迅速にできるようにさらなる体制の強化が必要
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のお便り、法人のお便り、分離クラスでの連絡帳の活用	

	43	個人情報 の取扱いに十分注意しているか	○		利用前に確認を取り、書面で記名押印をしてもらっている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		送迎時の会話や連絡帳、電話でのやりとりをしている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度は、最小限で行ったが、近隣への訪問を子どもと一緒にした	感染症予防を考えながら実施していくにはどうすればよいか検討が必要
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		チャート等でできるだけわかりやすくしている	全てのマニュアルが策定できていないこと、保護者への周知を図っていくことが課題
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		実施予定であるが頻繁にできていない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用前に書面にて確認	服薬の必要な子どもはいないが、今後の利用者によっては徹底が必要
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		今年度は対象者がいないが、書面で指示がわかるようにしている	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記録に残すようにしている	全ての職員間で共有し、支援に生かしていくことが課題
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止の研修を行っている	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		拘束が必要なことが想定される子どもには支援計画の中に記載し、同意を得ている	時短で働く職員で、関わりのない子どもについても支援計画に記載していることを知らせていく必要がある

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。